

## 曳船「さしろ」定期検査入渠工事仕様書

### 船体部

#### H-1 検査申請手続き。

- 1) 定期検査受検申請手続き一式。
- 2) 臨時変更証交付申請手続き一式。
- 3) 船舶国籍証書検認申請手続き一式。

#### H-2 船体上下架並びに滞架。175G/T

#### H-3 喫水線上下部外板(ブルワーク、フェンダー受台含む)について下記の工事を施工。※塗料:造船所支給

- 1) 喫水線上下部外板水洗い掃除、発錆部サンダー掛け(腐食が激しい箇所はジェットタガネを併用)の上、エポマリンAC(M)ブラウン、グレーT/U×各1回。

エポマリンAC(M)ブラウン	20kg	4缶
エポマリンAC(M)グレー	20kg	4缶
シンナーNo.17	16L	3缶

- 2) 1) 施工後、喫水線上部は、パイオニアプラス807青A/O×2回の上、パイオニアプラス200N白にて、船名、船籍港、乾舷標示、ドラフトマーク記入。

パイオニアプラス807青	20kg	8缶
パイオニアプラス200N白	20kg	1缶
シンナーNo.7	16L	4缶

- 3) 1) 施工後、喫水線下部は、ビニテクトプライマーシルバーT/U×1回の上、A/FタカタクオンタムG2000ダークブラウン、ブラウンA/O×各1回。船外トイレ排水口カバー・主機関冷却水排水カバー(ともに右舷側)取外しの上、施工する事。各カバーの施工仕様は上記と同様。

ビニテクトプライマーシルバー	16kg	3缶
シンナーNo.12	16L	1缶
タカタクオンタムG2000ダークブラウン	20kg	12缶
タカタクオンタムG2000ブラウン	20kg	12缶
シンナーNo.16	16L	3缶

#### H-4 両舷シーチェスト開放内部掃除、発錆部サンダー掛けの上塗装。2箇所(塗装仕様はH-3 3)と同様)

#### H-5 船外波止め弁(ケーシング式)開放整備受検の上、塗装。(塗装仕様はH-3 3)と同様)

・65A×2個   ・100A×1個

#### H-6 船底保護アルミ板新替。※部材:造船所支給

パテ仕様について、コルトノズル外周はフルセメント、シーチェスト内はパテナし、その他は通常(内部白パテ、表面セメント)にて施工。

保護アルミ板 300×150×40mm×38枚

#### H-7 両舷錨・錨鎖並びにチェーンロッカー受検及び下記の工事を施工。※塗料・部材:造船所支給

- 1) 両舷錨及び錨鎖繰出し錨鎖計測受検、錨及びスイベル・ジョイニングシャックル新替、既存品撤去処分。なお、新替するアンカーについては、爪の開き角度がどちら側も同様か確認する事。

ジョイニングシャックル取付後、ピン周囲を裏表全周溶接し、左右錨鎖を振替えて復旧。

付帯工事として、錨鎖復旧時、チェーンコンプレッサーストッパー位置が合わない場合には、ストッパースライド調整をおこなう事。

ストックレスアンカー	370Kg×2基
スイベル	φ24mm×2本
ジョイニングシャックル	φ24mm×4個

- 2) 錨鎖節数マークとして、各節その節数分のエンラージドリンクをパイオニアプラス200N白にて塗装。

錨鎖節数マーク	パイオニアプラス200N白	4kg	1缶
---------	---------------	-----	----

3)右舷アンカーチェーンコンプレッサー新替及び左舷アンカーコンプレッサー摩耗部肉盛り施工。

チェーンコンプレッサー φ24mm×1基

4)両舷ホースパイプベルマウス及び甲板上リップ摩耗部肉盛り施工。

5)チェーンロッカー内張開放、発錆部サビ打ちサンダー掛け後、エポマリンAC(M)ブラウン/U×1回、グレーA/O×1回の上、復旧。付帯工事として、掃除・ビルジ処理。

錨鎖庫	エポマリンAC(M)ブラウン	20kg	1缶
	エポマリンAC(M)グレー	20kg	2缶
	シンナーNo.17	16L	1缶

H-8 両舷船尾排気管外板貫通部(外板側)SUS板ダブリング箇所外周腐食部サビ打ちサンダー掛けの上、肉盛り施工。

H-9 両舷船尾舷側角フェンダー(MC型400H×2000L×470Kg)受台補強について下記の工事を施工。

※塗料・部材:造船所支給

1)既存前後側面板(全4か所)に、12mm厚の側面板作成の上、ダブリング溶接にて取付。  
付帯工事として、タイヤ及び各フェンダーの脱着、復旧時には各フェンダー取付ボルト全て(全16箇所)に回り止め溶接施工。

側面板 SS400 12t×500mm×550×4枚

2)左舷角フェンダー受台天板一部変形箇所の切替施工。(切替範囲:200×200mm)

受台天板 SS400 8t×200×100mm×1枚

ブルワーク SS400 7t×200×100mm×1枚

3)ブルワーク角フェンダー受台取付部(Fr. 8~13付近)の内側塞ぎ板を切取り開放し、フェンダー受台天板高さに合わせて、各フレーム間に9mm厚の補強材を溶接取付。

補強材 SS400 F. B150×3000mmL×1枚

4)各フェンダー受台船内側(機関室内)壁面に補強としてストリンガーを溶接取付。

補強材(施工範囲:Fr.9~14) 不等辺アングル9t×75mm×125mm×550mm×6本

5)施工箇所溶接取付後、ケレン処置の上、エポマリンAC(M)ブラウン、グレーA/O各1回、  
暴露部については、受台並びにブルワークパイオニアプラス807青A/O1回、  
機関室内については、パイオニアプラス200N白A/O1回の上、復旧。

H-10 両舷船尾隆起甲板舷側丸フェンダー(円筒型φ500×6000L×1150Kg)受台について下記の工事を施工。

※塗料・部材:造船所支給

1)両舷丸フェンダーを取外し、右舷受台については、天板・SUS半月塞ぎ板を全て切取り、各フレーム変形箇所を切替、天板各部に既存と同じ位置にSUS製アイピースを取付復旧。  
なお、丸ゴムフェンダーについては、再利用とする。

左舷フェンダー受台については、変形箇所のみ(施工範囲:1500mm)天板・SUS製半月塞ぎ板を切取り、フレーム変形箇所を切替、溶接取付復旧。

・右舷側天板 8t×6800mm×500mm×1枚

・左舷側天板 8t×1500mm×500mm×1枚

・右舷受台両端部 8t×400mm×500mm×2枚

・SUS304塞ぎ板 8t×6800mm×800mm×(R260曲げ加工)×2枚

・サビ流れ止め仕切り SUS. R. Bφ25mm×6800mm×2本

・1方ピース(丸フェンダー同締めチェーン用) SUS製20個

・ショートリンクチェーン SUS製φ16mm×1000m×12本

・シャックル SUS製耳付きφ19mm×24個

2)両舷既存2連タイヤの船尾側コーナー付近に、49インチタイヤ吊り下げ用1方ピース増設取付。  
アイピース(タイヤ吊り下げ用)

SUS製D型(呼び20mm)4個+予備8個(船主持ち帰り)

3)施工箇所溶接取付後、ケレン処置の上、エポマリンAC(M)ブラウン、グレーA/O各1回、  
暴露部については、受台はパイオニアプラス807青A/O1回、  
推進器室内については、パイオニアプラス200N白A/O1回の上、復旧。

H-11 船首及び両舷航空機タイヤ及びシャックル、ロープ新替。

※部材:造船所支給

船首タイヤ(5穴)	49×19×11本
下部シャックル(雑)	19mm×22個(銅線止め)
両舷タイヤ(5穴)	49×19×6本
ロープ(ポリエチレン製3つ打ち・色指定なし)	18mm×10m×16本
船尾両舷タイヤ(5穴)	49×19×6本
ロープ(ポリエチレン製3つ打ち・色指定なし)	18mm×7m×8本
廃タイヤ(49×19)21本処分。	

H-12 各タンクについて下記の工事を施工・受検。※塗料:造船所支給

1) 清水タンク(24t)全マンホール(4か所)・船底プラグ開放、内部水洗い掃除、発錆部サンダー掛け、エポマリンFW100A/O×1回の上、水洗い2回、復旧時、清水24t供給。

エポマリンFW100 20kg 4缶

2) 船首バラスタタンク(14t)全マンホール(2か所)開放、発錆部サンダー掛け、エポマリンAC(M)ブラウンT/U×1回、グレーA/O×1回の上、復旧。

エポマリンAC(M)ブラウン 20kg 1缶

エポマリンAC(M)グレー 20kg 4缶

3) ボイド及びコファダム開放掃除。

H-13 電動通風機(機関室2台、ZP1台)について下記の工事施工・受検。※塗料・部材:造船所支給

1) 取外し、モーター開放ベアリング・パッキン交換。

2) 薬品洗浄

3) 通風機ケーシング塗装変更の為、発錆部を含む全てをケレン処置の上、塗装面全面ケレン処置の上、エポマリンAC(M)ブラウン、グレーA/O×各1回の上、復旧。

エポマリンAC(M)ブラウン 20kg 1缶

エポマリンAC(M)グレー 20kg 1缶

シンナーNo.17 16L 1缶

H-14 空調装置について下記の工事を施工。※塗料:造船所支給

室内機 1) 熱交換器を薬品洗浄。

2) 送風ファンの軸受け並びにVベルト交換。

3) 復旧後に作動テスト実施。

室外機 1) 熱交換器を薬品洗浄。

2) 冷媒ガス量点検、要すれば補充。

3) 室外機を養生の上、室外機室内発錆部サビ打ちサンダー掛け後、エポマリンAC(M)ブラウンT/U×1回、グレーA/O×1回。

エポマリンAC(M)グレー 20kg 1缶

シンナーNo.17 16L 1缶

H-15 各水密扉全14枚、パッキンチョークテスト受検。

H-16 粉末消火器(ヤマトSA-17NR)7本新替受検、既存品撤去処分。※部材:造船所支給

H-17 レーダー(古野 FAR-2117)空中線、送受信部開放、マグネトロン交換、制御部、表示部も含め、各部掃除の上、コネクター端子、ネジの緩み等点検後、復旧。

H-18 BSアンテナ(カモス社製CSA-320)新替、既存品撤去処分。

H-19 社内無線機、船橋～下部旅客室間暴露配線を内張内に隠ぺい施工。

H-20 下記クリーニング施工。

- 1)毛布30枚 2)毛布カバー30枚 3)シーツ30枚 4)枕カバー30枚
- 5)カーテン30枚 6)レースカーテン6枚 7)カーテン止め40枚

H-21 船首甲板機械及びロープリーダーについて下記の工事を施工。※塗料・部材：造船所支給  
工事は、オーエスシステム(株)技術員の指導立会いの基に施工する事。

- 1)ロープリーダーのシリンダーピン取外しの上、本体陸揚げ各部点検整備。  
ローラーガイドを左右または上下振替が可能な場合には振替とする。
- 2)ビット内部をサビ打ちサンダー掛けの上、エポマリンAC(M)ブラウン、グレーA/O各1回。
- 3)両舷甲板機ロープ及びアンカー用ブレーキバンドを上下とも全て開放陸揚げ(ブレーキシリンダー除く)  
ロープ用ブレーキバンドについては、ライニングを点検、発錆部サビ打ちサンダー掛けの上、  
エポマリンAC(M)ブラウン、グレー各T/U1回、指定色パイオニアプラス807青A/O1回。  
アンカー用ブレーキバンドについては、ライニング新替、発錆部サビ打ちサンダー掛けの上、  
エポマリンAC(M)ブラウン、グレー各T/U1回、指定色パイオニアプラス807青A/O1回。
- 4)開放したブレーキ部各ピンについてはカラーチェック施工。
- 5)復旧後、両舷ブレーキテスト施工。

H-22 下記の箇所について発錆部サビ打ちサンダー掛け及び塗装を施工。※塗料：造船所支給  
なお、塗装仕様については、エポマリンAC(M)ブラウン、グレーT/U×各1回の上、各指定色A/O×1回。

- 1)マスト・コンパステッキ・ハウス全層(ハンドレール、階段、その他甲板上構造物を含む)  
マストは足場設置の上、全灯火を取り外すこと。復旧後点灯テスト実施。  
社章、船名、甲板上構造物識別マークは各所指定色塗装。  
必要各所養生をすること。(アンテナ、窓ガラス、ドア等)

エポマリンAC(M)ブラウン	上項目余剰分にて
エポマリンAC(M)グレー	上項目余剰分にて
シンナーNo.17	上項目余剰分にて
パイオニアプラス200N白	20kg 6缶
パイオニアプラスN1黒	4kg 1缶
パイオニアプラス145赤	4kg 1缶
パイオニアプラス346黄	4kg 1缶
シンナーNo.7	16L 2缶

- 2)NAV.BRI.DECK、BRIDGE DECK、UPPER DECK  
(ブルワーク、階段、その他甲板上構造物を含む)

エポマリンAC(M)ブラウン	上項目余剰分にて
エポマリンAC(M)グレー	上項目余剰分にて
シンナーNo.17	上項目余剰分にて
パイオニアプラス442緑	20kg 4缶
パイオニアプラス807青	20kg 1缶
パイオニアプラス145赤	上項目余剰分にて
パイオニアプラス346黄	上項目余剰分にて
シンナーNo.7	16L 2缶

- 3)両舷船首甲板機及び船首ロープリーダー

エポマリンAC(M)ブラウン	上項目余剰分にて
エポマリンAC(M)グレー	上項目余剰分にて
シンナーNo.17	上項目余剰分にて
パイオニアプラス807青	20kg 2缶
パイオニアプラス346黄	上項目余剰分にて
シンナーNo.7	16L 1缶

H-23 一般諸費用。

- 1)陸電供給。600kwh 2)清水供給

H-24 環境対策費。

- 1) 一般廃棄物処理費。
- 2) 船底付着物(貝殻類)廃棄物処理費。
- 3) 廃油、ビルジ処分費。
- 4) 廃ペイント(容器含む)処分費。
- 5) ゴム製品処分費。
- 6) 鉄くず処分費。(空ドラム・ペール缶)

H-25 安全対策費。

H-26 右舷船尾外板半丸防舷材、喫水線下に延長(5本)。※部材、造船所支給。

- ・SRPG sch40 200A×1000×5本
- ・フラットバー(内部) 5t×50×900×5本
- ・半月盲板 5枚

H-27 膨張式救命筏検査受検。

型式:RFD-ToyoMKIV-SC

製造番号:514221022352

製造年月:5/2024

機関部

M-1 主機関(ニイガタ6L26HLX 1800PS 750rpm×2基 機関番号:27336/27337)

シリンダーヘッド開放掃除点検、不良部品交換復旧、下記工事施工。

- 1) 給気弁及び弁座擦り合わせ。 24本
- 2) 排気弁及び弁座擦り合わせ。 24本
- 3) 起動弁擦り合わせ。 12本
- 4) 燃料弁取外し、整備後ノズルチップ新替、圧力330K調整。 12本
- 5) シリンダーヘッド燃焼面カラーチェック施工受検。 12基

M-2 ピストン全数抽出、ピストンピン開放掃除点検、不良部品交換復旧、下記工事施工。

- 1) オイルリング、ピストンリング新替。
- 2) ピストン燃焼面カラーチェック施工受検。
- 3) ピストンリング溝計測。(記録提出)
- 4) コネクティングロッドセレーション部マグナフラックス施工受検。(記録提出)
- 5) クランクピンメタル点検・間隙計測及びクランクピン真円度計測。(記録提出)

M-3 シリンダーライナー全数抽出開放掃除点検、各部計測受検復旧、下記工事施工。

- 1) 鐸下部カラーチェック施工受検。
- 2) ジャケット部防蝕塗料塗布。
- 3) ホーニング施工。

M-4 主軸受下半部(全数)開放各部掃除点検復旧、下記施工。

- 1) 主軸受クランクピン軸受間隙計測。
- 2) クランクピン真円度計測。
- 3) クランクピンカラーチェック施工。

M-5 クランクデフレクション計測。

- 1) 計測、記録提出。(下架後1回)
- 2) クランク室内部掃除。
- 3) 新油張り込み復旧。(JXマリンT204)

M-6 調速機(ZEXEL製RHD10-PC型 油圧式×2基 製造番号51728008/52001006)

開放掃除点検、不良部品新替、取付け後調整復旧。

M-7 両舷主機付属ポンプ開放掃除点検、不良部品交換の上、復旧。

- |            |    |            |    |
|------------|----|------------|----|
| 1) 冷却海水ポンプ | 2台 | 2) 冷却清水ポンプ | 2台 |
| 3) 潤滑油ポンプ  | 2台 | 4) 燃料供給ポンプ | 2台 |

M-8 両舷主機カムケース開放掃除受検。

M-9 過給機(TSU(ABB)製 TPS52-F33型×2基 製造番号Xi306031/Xi306032)

両舷過給機開放掃除点検計測、不良部品新替、調整復旧。

- 1) カラーチェック施工受検。

M-10 下記冷却器開放掃除点検、保護垂鉛新替、圧力テストの上、復旧。

- 1) 右舷インタークーラー (内外部) 1台  
左舷インタークーラー換装 1台(インタークーラー本体 船主支給)  
※両舷ブロック側空気槽錆打ち清掃の上、防蝕塗料塗装。
- 2) 潤滑油クーラー (外部) 2台
- 3) 清水クーラー (内外部) 2台
- 4) 甲板機潤滑油クーラー(外部) 1台

M-11 ガイスリンガー継手(新潟原動機製 BC56c312R0型×2基 製造番号656616/656617)  
陸揚げ開放掃除点検、不良部品新替復旧。

M-12 両舷中間軸受(10箇所)上半部全数開放ベアリング点検、受検復旧。  
付帯工事として、グリス新替とし、各軸受で取り除いたグリス量を計量し、同量を補充すること。  
(グリス:コスモダイナマックスグリスEP.2:船主支給)

M-13 推進器(ニイガタZP-21型×2基 質量15500kg 4翼スキュードMカプラン型 D=2000 P=1930)  
(機関番号:P3281/P3282)

両舷推進器陸揚げ、主要部開放掃除点検、不良部品新替、復旧、下記工事施工。

- 1) 本体现油採取処分、新油張り込み復旧。  
(JXスーパーハイランド100×2000L:船主支給)
- 2) プロペラ取外しメーカー送りの上、整備、プロペラ圧入受検復旧。
- 3) プロペラ軸シールリング及びシールライナー新替。
- 4) パワーユニット現油採取の上、タンク内部掃除、新油張り込み。  
(JXスーパーハイランド68×200L:船主支給)
- 5) 本体潤滑油クーラー、開放内外部掃除点検、保護亜鉛交換、圧力テストの上、復旧。
- 6) ZP室開口部天蓋取付台座は、サンダー掛けの上、錆止め並びに上塗り塗装。
- 7) 両舷排気管取外し、ホルトナット、マルガスケツト(450A)新替、フランジ面腐食部肉盛り溶接。
- 8) 上部ギアケース取外し、点検カバー開放。各ギア及びベアリング点検及びカラーチェック施工。
- 9) クラッチ(ブレーキ)開放点検、計測、カクリング、パッキン新替復旧。(記録提出)
- 10) 旋回油圧モーター取外し、旋回歯車及びピニオンギア歯当たり点検。  
復旧時、旋回ピニオンギアを2基とも、状態を観て45~90度ずらして復旧する事。
- 11) 右舷ZPサーボ弁新替、調整復旧。
- 12) 両舷チャージポンプ新替。
- 13) 右舷ZPポンプユニット端子BOX新替。
- 14) シールキャリア摩耗確認の上、旋回筒オイルシール新替復旧。
- 15) ギアカップリング及びピニオン軸拔出し、ギア並びにベアリング点検、カラーチェック施工受検。
- 16) 下部ギアケース開放、プロペラ軸拔出し開放掃除点検、テーパ部マグナフラックス施工受検。
- 17) 各ギア歯当たり及びベアリング点検、バックラッシュ計測、カラーチェック施工受検。(記録提出)
- 18) 組立後、油密テスト施工。
- 19) 両舷コルトノズル内面壊蝕部肉盛りの上、フラッシング施工。

M-14 油圧クラッチ(AGCP142BY×2基 製造番号AG03505/AG03506)

主要部開放点検整備復旧、下記施工。

- 1) ニードルベアリング新替
- 2) フィルター新替

M-15 主発電機関(ヤンマー6CHL-HTN 120PS1800rpm 100kVA×2基)(機関番号:1616/1617)

両舷シリンダーヘッド開放掃除点検、不良部品交換の上、下記工事施工。

- 1) 給気弁擦り合わせ。 24本
- 2) 排気弁擦り合わせ。 24本
- 3) 燃料弁取外し掃除、ノズルチップ新替。 12本 圧力(220K)に調整
- 4) シリンダーヘッド燃焼面カラーチェック施工受検。
- 5) 機関吊り上げ主軸受開放。
- 6) ギアケース、オイルパン取外し、ブロック横転組立復旧。
- 7) クランクピン計測及びカラーチェック施工受検。(記録提出)
- 8) クランク軸オイルシール新替。
- 9) セルモーター開放整備。
- 10) オルタネーター開放整備。

M-16 両舷ピストン全数抽出、ピストンピン開放掃除点検、不良部品新替復旧、下記工事施工。

- 1) オイルリング、ピストンリング新替。
- 2) ピストン燃焼面カラーチェック施工受検。
- 3) ピストンリング溝計測。(記録提出)
- 4) コネクティングロッドセレーション部マグナフラックス施工受検。(記録提出)
- 5) クランクピンメタル点検・間隙計測及びクランクピン真円度計測。(記録提出)

M-17 両舷シリンダーライナー全数抽出開放掃除点検、各部計測受検、復旧。(記録提出)

M-18 両舷過給機(TFO7-13M×2台)開放掃除点検、不良部品新替、調整復旧。

M-19 クランクデフレクション計測。

- 1) 計測、記録提出。(下架後1回)
- 2) クランク室内部掃除。
- 3) 新油張り込み復旧。(JXマリンT204)

M-20 両舷発電機付属ポンプ開放掃除点検、不良部品新替復旧。

- 1) 冷却海水ポンプ 2台
- 2) 冷却清水ポンプ 2台 ※サーモスタット開放掃除、作動テスト施工
- 3) 潤滑油ポンプ 2台

M-21 下記冷却器開放掃除点検、保護亜鉛交換、圧力テストの上、復旧。

- 1) インタークーラー(内外部) 2台
- 2) 潤滑油クーラー(外部) 2台
- 3) 清水クーラー(内外部) 2台

M-22 発電機付属フィルターエレメント新替。

- 1) LOフィルターエレメント
- 2) FOフィルターエレメント
- 3) 油水分離機フィルターエレメント

M-23 発電機の側蓋開放、内部薬品洗浄及びエアブローの上復旧。

M-24 主配電盤各部点検及び電路メガーテスト施工。(記録提出)

M-25 空気圧縮機(三和鉄工製S5A型×2基)

ピストン抽出、ピストンピン開放掃除点検、不良部品交換の上、受検。下記工事施工。

- 1) ピストンリング新替
- 2) 高低圧弁擦り合わせ
- 3) クランクケース内部掃除、潤滑油交換(JXマリンT204)

M-26 主空気槽ヘッダー開放、諸弁擦り合わせ受検、復旧。(2基)

M-27 下記電動機開放整備。各部点検掃除、内部薬品洗浄、不良部品交換の上、復旧。

- 1) 清浄機燃料移送ポンプモーター(日本ジーローター製TOP-206HBVB0.4kw) 1台
- 2) 空気圧縮機モーター(三和製S5A型3.7kw) 1台
- 3) GSポンプモーター(大東製MCQH-80型7.5kw) 1台
- 4) 予備潤滑油ポンプモーター(大東製DH-M65型7.5kw) 1台

M-28 下記ポンプ開放掃除点検、不良部品交換の上、受検、復旧。

- 1) GSポンプ(大東製MCQH-80型) 1台
- 2) ビルジポンプ(大東製MCQS-40型) 1台

- 3) 清浄機用燃料移送ポンプ(日本ジーローター製TOP-206HBVB0. 4kw) 1台  
 4) 予備潤滑油ポンプ(大東製DH-M65型) 1台

M-29 LOサンプタンク(5. 64kL)マンホール開放掃除、潤滑油処分の上、新油張り込み。  
 JXマリンT204×3800L(新油:船主支給)

M-30 FOタンク(No.1 24.48KL No.2 24.48KL)及びサービスタンクガット開放、燃料抜き取り保管の上掃除受検。

M-31 清水膨張タンク(400L)開放、内部掃除。ガット部パッキン交換の上復旧。

M-32 全船底弁(12個)ケーシング1式陸揚げ、開放掃除、擦り合わせ受検、復旧。

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| 1) 主機冷却海水ポンプ用(5K×125A)  | 2基 |
| 2) GSポンプ用(5K×100A)      | 1基 |
| 3) 主発電機冷却海水ポンプ用(5K×32A) | 2基 |
| 4) ビルジポンプ用(5K×50A)      | 1基 |
| 5) シーチェスト空気抜き用(5K×50A)  | 2基 |
| 6) シーチェスト掃除空気用(16K×15A) | 2基 |

M-33 甲板機油圧タンク内掃除、作動油抜き取り処分の上、新油張り込み。  
 JXスーパーハイランド46×400L(新油:船主支給)

M-34 機関室ビルジ(Max3tと仮定して)陸揚げの上、ビルジ溜り掃除。(ビルジ処理証明書発行)

M-35 遠隔操縦装置点検整備施工。C級

- 1) 船橋操縦スタンド、ZP旋回指示計ポテンシオメーター及びDCモーター新替。

M-36 油水分離器(大晃製USH-01型)及びポンプ開放整備の上、作動テスト受検。

- 1) コアレッサー取外し、内部洗浄後復旧。  
 2) 吸入ポンプ開放整備。

M-37 潤滑油清浄機(SR-Z60PW-60HP型)エレメント(パール缶)3缶、交換、既存品廃棄処分。

M-38 機関各部開放検査並びに効力検査受検立会い。

- 1) 係留運転並びに海上試運転立会い。  
 2) 機関各部計測。(記録提出)  
 3) 海上試運転終了後、クランク室ドア開放クランク点検復旧。  
 燃料及び潤滑油ストレーナー(2次)開放掃除復旧。

M-39 下記海水単式ストレーナー開放掃除の上、受検。

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| 1) 主機冷却海水ポンプ用(5K×125A)  | 2基 |
| 2) GSポンプ用(5K×100A)      | 1基 |
| 3) 主発電機冷却海水ポンプ用(5K×32A) | 2基 |

M-40 下記配管予備作成。

- 1) 右舷主機A/C出口:50A×角フランジ1×5K80Aフランジ1×曲がり1×850mmL×1本  
 2) 右舷主機応急:80A×5K80Aフランジ1×5K50Aフランジ1×曲がり2×750mmL×1本  
 3) 右舷主機海水ポンプ入口:60A×5K100Aフランジ1×5K65Aフランジ1×5K125A  
 フランジ1×曲がり1×チーズ1×しぼり1×550mmL×1本  
 4) 右舷海水ポンプ出口:65A×50A角フランジ1×5K80Aフランジ2×曲がり1×1000mmL×1本  
 5) 両舷船底弁~ストレーナー:125A×600mmL×2本  
 6) 主機~ZPクーラー:50A×1500mmL×2本